

明るい安八

2026年
10月
第52号

発行責任者
日本共産党
安八支部

連絡先
西松 忠男
Tel 64-2391
(FAX兼用)

災害リスクを減らして人に寄り添う町
住民本位の町政で健やかな暮らし向上へ



安八豪雨から
50年、
安全祈願祭

50年の節目の年を迎えたことも

あり、安全祈願祭は今年で終了しま
す。「町民の生命と財産を守るとい
う使命を胸に、安心・安全な町づくり
を担っていく」と町長は誓いました。
水防活動をされていた、富田さん
ご冥福をお祈りします。

最近の気候変動や地球温暖化等
で線状降水帯が各地で発生していま
す。南海トラフも心配です。防災へ
の意識を持ち、今後も頑張ってい
ます。

町会議員

西松 幸子

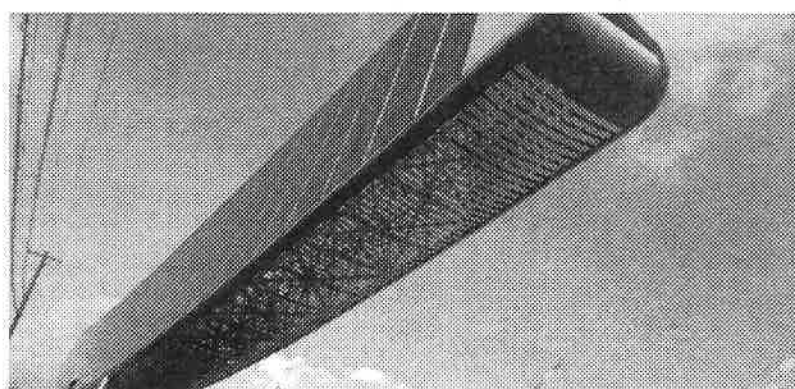
解体される

ソーラーアーク

長年にわたり親しま
れたソーラーアーク。
9月から1年かけて解
体工事に入ります。そ
して2030年、理研
ビタミン株式会社が創
業を開始します。



防災や地域防災に詳
しい九州国際大学の村
岡尚道教授による講演
もあり、豪雨対策とし
て非難を早めに完了さ
せる「フライング避難」
を紹介。「自分の命を
守るために町職員や消
防団が犠牲になるかも
しれない。あなたが逃
げればみんなの命も助
かる」という話を聞き
、「フライング避難」と
いう新しい言葉に出
会いました。



9月議会報告

9月議会で西松幸子議員は一般質問にたち、

① 災害級の暑さの中発生した熊本地震

② 水道基本料金免除の継続を

の二点について提案し、見解を求めました。

・7月28日、熊本に震度7の地震が発生し、断水が続きまし
た。断水時に必要な「簡易トイレ」「使い捨ての下着」「水のい
らない全身キレイセット」。全身キレイセットとは、水を一滴
も使わずに全身清潔に保てる物です。被災者にとって、体だけ
でもさっぱりできることが想像以上に心の支えになります。



「パチパチ安ハ」ダンスクラブ

健康増進だけでなく、認知症予防にも効果的です。

◇断水時の備蓄について

【答弁】河合課長

簡易トイレ、ドライシャンプーを50本、約700回分を備蓄しています。
「使い捨て下着」や「水のいらない全身キレイセット」は町で備蓄するには限
界があり、個人で準備するよう啓発を行っていくと答えました。

◇自助、公助、共助について

高齢者世帯が増え、ポリタンクは重く、自助がままなくなっています。

【答弁】河合課長

自治会、民生委員、社会福祉協議会など、全体で支え合っていくと答えまし
た。

【要望】

これまでの災害で避難所での口腔ケアがしっかりされず、災害関連死へとつ
ながっていきました。口腔ケアをしっかりすれば防ぐことができます。口腔用
ウェットティッシュの備蓄をお願いします。

・3月、物価高騰重点支援地方交付金事業として、水道基本料金4ヶ月分の免
除を実施していただきました。物価高騰が続いている中、引き続き継続をお願
いできませんか。

【答弁】町長

国からの交付金の追加があれば必要な支援策を検討すると答えました。